

第 61 回技能五輪全国大会 「冷凍空調技術」職種 職種連絡会議事録

1. 日時 2023 年 9 月 14 日（木） 14：00～15：45

2. 場所 AP 東京丸の内 3 階 ROOM_H+I 会議室

3. 議題

- (1) 出席者の紹介
- (2) 競技課題について
- (3) 競技会場について
- (4) その他

4. 配付資料

- (1) 議事次第
- (2) 会場視察報告書

5. 議事

全出席者の自己紹介を実施。

今年度の協賛企業(材料等の無償提供)を紹介。

- ・(株)鷺宮製作所 膨張弁・電磁弁等の制御機器
- ・橋本総業(株) 競技用配付材料一式

(1) 連絡事項

1. 3 大会ぶりに有観客で実施。
2. 今大会は 2023 年にフランス・リヨンで開催予定の国際大会予選大会。
3. 当職種初の平日開催（11 月 16 日(木)競技、17 日(金)PM 課題返却）。
4. 会場はポリテクセンター千葉のイベントホール。
5. 競技のライブ配信を今大会も予定。
6. 今大会全体の開会式 11 月 17 日(金)。閉会式 11 月 21 日(火) 両方 Web 配信のみ。
7. 選手には弁当配付(会場下見日+競技日)。

(2)競技課題等についての質疑応答

Q1. 課題図面 I-22 押ボタンとスイッチが標準仕様品の入手が困難。納期が 3 か月かかるが同じ物を使用しなくてはならないか。

A1. 機器表欄上に「全て同等品可」となっているため同等品で OK。

Q2. 競技課題 p.1/10 競技前日に行う作業 5. 及び端子台板配線要領より、端子台 B と端子台 C の接続タイミングについて、端子台 B 側のみ接続して、端子台 C はフリーにしておくことは可能か。

A2. OK。

Q3. 穴開け切削作業時に、矯正用メガネは保護具として認められるか。

A3. 技能五輪全国大会冷凍空調技術職種の場合と限定して OK とする。

Q4. 冷凍機運転確認作業標準 確認内容②TLR-2 を 1 分設定とあるが、パネル蒸発器の文字数が多く、1 分では冷却しきれないが調整してもよいか。

A4. 同作業標準⑨電子サーモの表示温度が 0.1℃でも低下すれば OK なので調整は不要と考える。

Q5. 万力の設置状態で、特に選手側への突出具合を知りたい。

A5. 写真 1 及び 2 参照。万力のサイズは 150 で、手前の突出は写真黒棒のように長物をくわえても机上に干渉しない程度で天板端面と口金間は 15mm。作業台左側から万力中心まで 250mm。



写真 1 (第 60 回大会のもの)

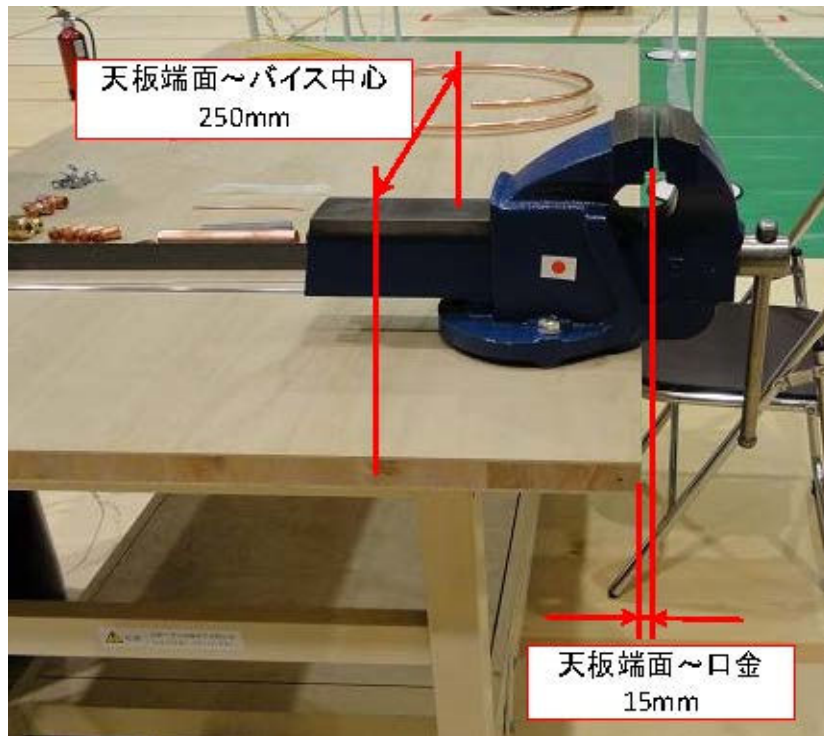


写真 2

Q6. 端子台板配線要領の図 2 で、端子台 A1、B1 は安全ブレーカへとになっているが、端子台を経由せず直接コンデンシングユニットに接続してよいか。

A6. 配線要領のとおりとする。

Q7. 前回まで、コロナ禍により競技委員等とのやりとりの際にマスク着用を要望されていたが今回は？

A7. 一任とする。

Q8. Q2 に関連して、端子台 B と端子台 C の接続方法について、端子台にビス止めではなく、IV 線途中にコネクタを設置して接続することは可能か。

A8. NG。ビス止めを標準とする。

(3)会場視察報告

1. 搬入路は 4 トントラックの出入り可の広さ。
2. 搬入口は縦 4m 横 8m 程度でスロープ設置。
3. 工具置場及びギャラリースペースは十分広い。
4. 会場横サイドに教室があり、そこを選手控室とする。
5. 選手控室内に水道があり直接バケツに給水及び排水可能。
6. 会場中心で 1700 lx 程度の明るさがあり、影の影響はない。

7. 2階採光部は北面以外の全方向を遮光予定。
8. エントランス側2階に教室があり、更衣室とする予定。
9. 関係者用・観客用駐車場はないので公共交通機関を利用のこと。
10. 工具搬入時は、搬入次第車両は退場。
11. 関係者車両駐車スペースは JAVADA 用であり、選手・関係者用ではない。

(4)その他

1. シャトルバス運用予定について今現在未定だが、計画としてモノレールのスポーツセンター駅と会場を結ぶ予定。
2. 競技時間を考慮した運行時間を予定しているので、選手を含み利用願う。
3. 付近にはフレスポ稲毛というショッピングセンターがあり、レストラン、ファストフード等関係者昼食に利用可能。
4. 閉会式は 11/21(火)10~12 時で、録画での Web 配信のみを行う予定であり、集合形式では行わない。
5. 閉会式において、順位発表の間隔が短く、選手の確認が難しかった。間隔を延ばすか、アーカイブを残すことを希望する。
→開・閉会式の運営は、JAVADA でなく厚労省が直接行っているため、回答はできないが、要望は伝えておく。
6. 主査の井澤が日設連を退職し、11月1日から次の企業へ所属となる。その所属企業から選手が当職種へエントリーしている。
7. 当職種の競技主査は、採点作業にタッチしておらず、集計事務においても競技委員の確認を得て JAVADA へ提出している。
8. 今年度においてはこの体制で運営することを了解いただきたい。

以上(230926 井澤)